

2026 年度「山口県立大学学術情報 看護栄養学部紀要」投稿要領

2026 年 6 月 17 日改正

看護栄養学部紀要編集委員会
曾根文夫、家入裕子、加藤元士

■2026 年度 紀要編集スケジュール

1. 投稿希望者は全員、令和 8 年 11 月 25 日（水）17:00までに投稿希望用紙に必要事項（論文・作品名等は仮題目で可）を記し、編集委員会代表（学部長／別科長）までメール（メールの件名は「看護栄養学部紀要の件」とする）で送付のこと。
2. 投稿原稿の締め切りは令和 9 年 1 月 5 日（火）12:00とし、編集委員会代表（学部長／別科長）の指定する場所に提出すること（時間厳守）。
3. 印刷原稿 1 部と執筆者の氏名とタイトルを記した電子媒体（USB メモリ 等）を学術論文等公開許諾書とともに提出する。
4. 提出物は、テキストデータ、図表の電子データ、印刷原稿（紙媒体）とする（最終形のレイアウト、段組等は不要、改行、章立て、注、図表の大きさ、掲載位置・挿入場所の指定は必要、レイアウトイメージの添付可）。著者校正は、原則として初校のみとする。

■投稿要領

1. 本紀要の主旨
本学部の学術向上のため、研究成果の発表、活動報告を主な目的として刊行される。
2. 投稿者の資格
投稿有資格者は本学教職員・本学に在職した経験のある教職員・本学在学生・卒業生であることとし、学外者との共著論文を投稿する場合には、筆頭執筆者が本学教職員・本学に在職した経験のある教職員であることとする。ただし、編集委員会が特に認めた場合はこの限りでない。
3. 投稿原稿数
投稿原稿は未公刊のものに限り、原則として、一人につき一編とする。
4. 投稿論文の種別
総説、原著、短報、事例報告、資料とする。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 総説：研究・調査論文の総括および解説2) 原著：独創的な研究論文および科学的な観察で未発表のもの3) 短報：独創性の高い速報、予報的な研究4) 事例報告：学術的に示唆に富む事例の報告5) 資料：1) ～ 4) に該当しない学術上有用な資料 |
|--|

5. 原稿執筆要領
 - 1) 本文原稿
 - (1) 原稿は和文もしくは英文とする。英文は校閲を受けておくことが望ましい。
 - (2) 原則として、標準的なフォント・ポイント数（11 ポイント程度）を用いた Microsoft Word で作成する。
 - (3) 原稿は A4 判横書きで、1 行の文字数を 40 字、1 ページの行数 35 行（約 1,400 字）を標準とし、適切な余白、行間をあける。
 - 2) 総説、原著、事例報告、資料
和文原稿：28,000 字以内、英文原稿：16,000 語以内とする（文献、図表を含む）。
 - 3) 短報
和文原稿：6,000 字以内、英文原稿：3,600 語以内とする（文献、図表を含む）。
 - 4) 投稿論文の構成
投稿論文には、論文の表題、著書名、5 語以内のキーワード、要旨をつける。

和文論文の場合は、さらに英語の表題、著者名、キーワード、英文抄録（250語程度）をつける。但し、短報および資料についての英文抄録は不要。英文抄録は校閲を受けておくことが望ましい。英語の論文には和文抄録（400字程度）をつける。

6. 著者名
著者名には上付きで 1), 2), 3) ... をつけ、所属を記す。
7. 投稿論文の構成
投稿論文の構成は、原則として、要旨、序論、方法、結果、考察、引用文献から成り立っていることが望ましい。
8. 記述内容
記述は、簡潔、明瞭にし、現代仮名づかい、常用漢字を使用する。表、図等を活用することが望ましいが、その数は必要最小限にする。
9. 使用数字
数字は原則として、算用数字を使用する。
10. 計量単位
計量単位は、原則として国際単位系（SI）を用いる。
11. 脚注
脚注には通し番号をつけ、本文中にそれに対する番号（1）、（2）、（3）... を記す。
12. 図表
図と表および写真は表 1、Table 1、図 1、Figure 1 のように番号を記す。
表の題はその上部に、図および写真の題は下部に書く。
13. 文献
引用文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1-4) 等番号を示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。引用文献の著者名は全員を書く。記載の方法は、原則として下記の例示のごとくする。記載方法は執筆分野によって変更可能であるが、その分野の主要な学会誌等の投稿規程に準じて記載すること。

【和文文献】

・[学術雑誌に掲載された論文]

著者名全員（西暦発行年）. 表題. 雑誌名, 巻(号), 開始ページ-終了ページ.

- 1) 野口眞弓（1996）. 助産婦の仕事における承認と仕事の満足度の関係. 日本看護科学学会誌, 16(3), 48-57.

・[電子ジャーナル]

前述の書誌要素に加え、DOI（Digital Object Identifier）を初頁-終頁に続けて記す。ページ付けがない電子ジャーナルの場合は、初頁-終頁に替えて論文番号を記す。

<ページ付け有りの例>

- 1) 倉嶋優希, 白石三恵（2019）. 妊娠前または妊娠中のボディイメージと妊娠中の体重増加量の関連に関する系統的レビュー, 日本助産学会誌, 33(2), 117-127, doi.org/10. 3418/jjam.JJAM-2019-0010、2019.

・[単行書]

引用番号) 著者名(西暦発行年). 書籍名. 発行地名: 出版社名.

- 2) 黒川昭登(1997). 閉じこもりの原因と治療, 東京: 岩崎学術出版社.

・[単行書 分担執筆の場合]

引用番号) 著者名(西暦発行年). 担当章, 書籍名, 編集者名, 出版地: 出版社名, 開始ページ-終了ページ.

- 3) 岩崎祥一 (1991). ガン患者への心理的アプローチ, 健康心理学, 岡堂哲雄編, 東京: 誠信書房, 183-188.

【英文文献】

・[学術雑誌に掲載された論文]

引用番号) 著者名 (発行年). 論文表題. 雑誌名, 巻 (号), 初頁-終頁.

- 1) Anders, T.F. & Sostek, A.M. (1976). The use of time lapse video recording of sleep-wake behavior in human infants. *Psychophysiology*, 13(2), 155-158.

・[電子ジャーナル] 前述の書誌要素に加え, DOI (Digital Object Identifier) を初頁-終頁に続けて記す。ページ付けがない電子ジャーナルの場合は、初頁-終頁に替えて論文番号を記す。

<電子ジャーナル・ページ付け無しの例>

- 1) Anders, S. & Schroeter, C.(2017). The impact of nutritional supplement intake on diet behavior and obesity outcomes, *PLoS One*, 12, e0185258, doi: 10. 1371/journal.pone.0185258.

・[単行書]

引用番号) 著者名 (西暦発行年). 担当章, 編集者名, 書籍名, 出版地: 出版社名, 開始頁-終了頁.

- 2) Sameroff, A.J. (1993). Model of development and risk, C.H. Zeanah, Jr. (Ed.), *Handbook of infant mental health*, New York: The Guilford Press, pp. 5-9.

【Web ページなど】

・引用番号) 出版データのあとにカッコで括って検索日を記載

- 1) 厚生労働省・人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン、改定平成 27 年 3 月、(2016.05.25 検索)

[http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-](http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000078981.pdf)

[Iseikyoku/0000078981.pdf](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/saisyu_iryoku/)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/saisyu_iryoku/

14. 謝辞

謝辞等を記載する場合には、本文の終わりに「謝辞」等の見出しで書く。

著者の条件に満たないが、研究活動の遂行や論文作成等に関わった者については謝辞に記載する。

15. 利益相反

利害関係に関わる情報を開示する。利益相反の有無について具体的に記載する。企業・団体等からの研究費助成、試料提供、物品および便宜供与等を受けた場合には、その旨を論文の末尾に記載する。

(例: 「本研究における利益相反に該当する事項はない」、「著者〇〇〇〇は、株式会社□□□□から研究助成金ならびに試料の提供を受けた」等)

16. 倫理的配慮

人および動物を研究対象とする研究においては、倫理的な配慮が必要である。本学または他機関の動物実験委員会や生命倫理委員会等の承認を受けて実施した研究は、その倫理委員会の名称と承認番号、実施した倫理的配慮の概要を本文中に記載する。

(例：「対象者に対し研究の目的・方法・所要時間を説明し、自由意思で参加していただいた」)

17. 資金

政府等からの研究費助成、試料提供、物品および便宜供与等を受けた場合には、その旨を論文の末尾に記載する。

科研費の場合の記載例

【和文】：本研究は JSPS 科研費 JP12345678 の助成を受けたものである。

【英文】：This work was supported by JSPS KAKENHI Grant Number JP12345678.